

## Injury Alert (傷害速報)類似事例

手押しポンプ式井戸のレバー基部に挟まれた指爪挫創 (No.26 ベビーカーによる指先の切断の類似事例 9) ㊦

事例	基本情報	年齢：5歳 6か月 性別：男児 体重：18.8kg 身長：110cm
	家族構成	不明
	発達・既往歴	特記事項なし
臨床診断名		環指挫創、爪甲脱臼、爪床挫創、末節骨骨折
医療費		入院 0円 外来 48,010円
原因対象	対象名称	手押しポンプ式井戸 (レバー基部に巻き込み防止の工夫はされていない)
	入手経路 使用状況	公園設置物
発生状況	発生場所	公園の井戸
	周囲の人 周囲の環境	同年齢の子どもが数人
	発生年月日	2024年4月X日(木) 午後6時0分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	同年齢の子どもが数人で、近所の公園で遊んでいた。保護者の付き添いはなかった。公園には災害対策用として市が設置している手押しポンプ式の井戸があり、周囲に囲いはなく、誰でも触れるようになっていた。他の子どもがポンプを押し下げた後に、患児が交代しようとして手押しバーに手を伸ばした。その際、自然に跳ね上がってきたバーの基部に右環指が挟まれた。患児は「意図的にバーの稼働部に手を入れた認識はなく、右手が吸い込まれるように感じた」とのことであった。患児が自力でレバーを動かして挟まれた指を引き抜くと、右環指末節部から出血があり、帰宅後午後8時に医療機関を受診した。
医療機関受診時 以降の治療経過 転帰	右環指挫創、爪甲脱臼、爪床挫創を認めた。単純X線写真で末節骨骨折を認めた。抜爪した後に皮膚と爪床を計4針縫合し、骨折に対しシーネ固定を行った。開放骨折として抗菌薬内服を行った。受傷翌日、6日目、12日目に外来通院で創部の確認を行った。経過良好であり、12日目に抜糸した。以後は近医整形外科に通院し、計1か月半程度での治癒見込みである。	
キーワード	指爪挫創、手押しポンプ式井戸	



図 1. 受傷当日の創部. 右環指挫創、爪甲脱臼、爪床挫創を認めた

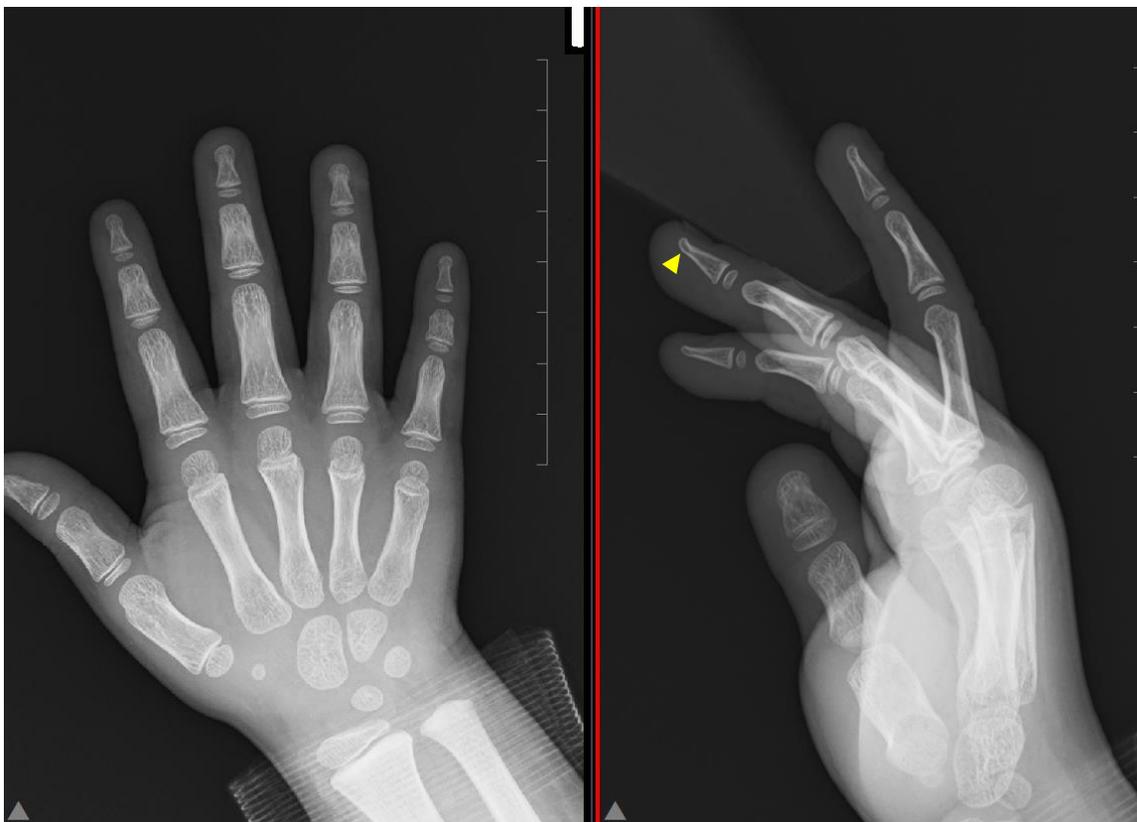


図 2. 受傷当日の単純 X 線写真. 右環指末節骨骨折を認めた



図 3. 受傷 5 日目の創部（縫合後）

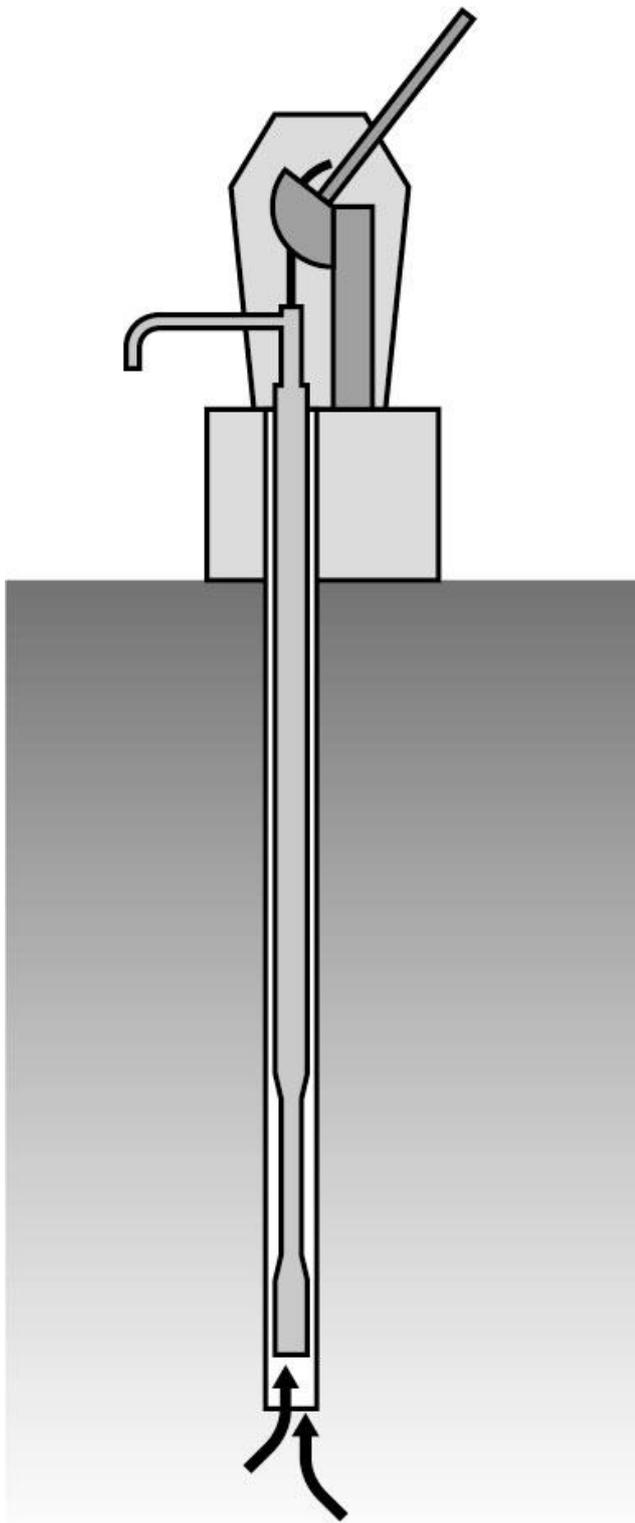


図 4. 現場の手押しポンプ式井戸の全体構造

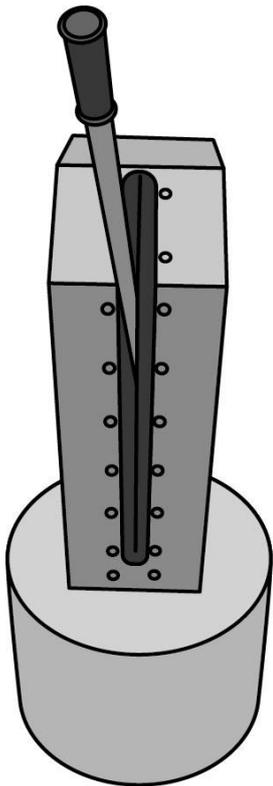


図 5. 手押しポンプ部分の正面像

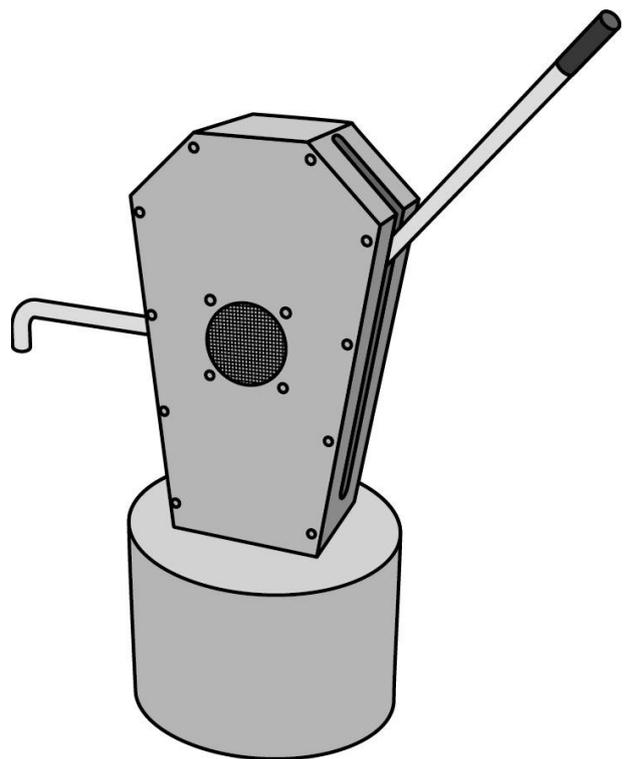


図 6. 手押しポンプ部分の側面像

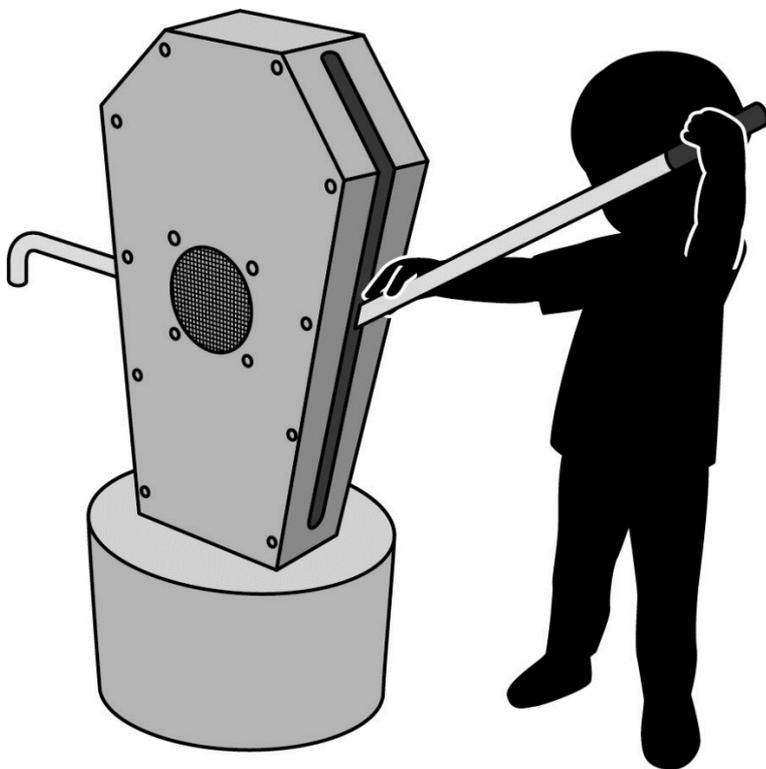


図 7. 手押しポンプ部分で受傷した時の様子の再現